

事業の概要

<公益目的事業>

I 社会経済史・経営史関連事業

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第45号(2011年)を刊行した。
- (2) 経済史・経営史にかかわる研究活動として、上記の『三井文庫論叢』掲載論文関係の研究のほかに、三井文庫主催による研究会の開催、外部研究会等での発表などを行った。(詳細は後掲の「事業の内容」において記載)。
- (3) 資料保存のため、三井合名会社資料のマイクロフィルム撮影を行った。
- (4) 三井文庫史料叢書「大坂両替店『聞書』1」を刊行した。また以降の刊行分についても、原稿の作成・校正を進めた。
- (5) 利用者の便宜を図るため、所蔵資料分類目録の整理、所蔵図書目録のコンピュータ入力などを進めた。
- (6) 北三井家寄贈フィルムのうち、5本をDVD化した。
- (7) 三井合名会社資料の第3回分を公開した。
- (8) 新町家資料を受け入れた(寄贈)。別家小島家の資料を調査し、一部を受け入れた(寄託)。旧三池港務所資料の調査を行った。旧三井銀行小樽支店資料を受け入れた(寄託)。旧三井銀行小樽支店の建物の調査を行った。飯野三一氏(元三越取締役)関連資料を受け入れた(寄贈、寄託)。
- (9) 米国国立公文書館が所蔵する三井物産在米支店関係資料について、調査と複写収集を進めた。
- (10) 戦後三井グループ史関連のヒアリング計画の準備を進めた。
- (11) 関係諸機関からの見学を受け入れた。国内外の関係諸機関が開催する研修会・研究会などに参加した。
- (12) 日仏経営史会議「流通・市場・消費者」(国立パリ社会科学高等研究院との共催で2007年、2008年に開催)の成果報告集の刊行準備を進めた。
- (13) 科学研究費補助金(2件)の交付を受け、研究を進めた。また科学研究費補助金(刊行助成)を受けた(1件)。

II 文化史・美術館関連事業

A. 文化史関係(資料の保管整理研究事業)

- (1) 特別展図録の発行で執筆の協力をした。

○特別展図録『ホノルル美術館所蔵 北斎展』（アートシステム発行）

*なお、展覧会は福島原発事故の影響で平成24年度4月に延期

(2) 展覧会図録を作成した。

○特別展図録『日本美術にみる「橋」ものがたり一天橋立から日本橋まで』

（三井記念美術館7月発行）

○特別展図録『華麗なる<京蒔絵>—三井家と象彦漆器—』

（三井記念美術館9月発行）

(3) 三井美術文化史論集第5号を刊行した。

(4) 重要文化財 東福門院入内図屏風の3年にわたる修理が完成し、「館蔵品展」において一般公開した。

(5) 重要文化財古筆手鑑「たかまつ」の修理を、国と東京都の補助金の交付を受けて行った。また、地震により破損した「桐紋唐草蒔絵雛道具（雪洞）」の修理を行った。刀剣の定期手入れを行った。

(6) 文化史資料の実査と一元的管理の規則作成に向けて収蔵庫内の再整理を行った。

(7) 文化史資料の調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。

(8) 東洋陶磁学会、日本陶磁協会、茶の湯同好会などの学会・研究会を当館レクチャールームで開催し、研究発表を行った。

(9) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し、学術文化の振興に寄与した。

(10) 新町三井家の三井依子氏より、白氏文集卷二十三ほか、全133点を、社会経済史関係資料全527点と合わせ、新たに寄贈を受けた。

(11) 能面師橋岡一路氏より寄託されていた能面8面と謡本（元和卯月本）100冊他全12件を、新たに寄贈を受けた。

(12) 綱町三井クラブが管理する葵祭・祇園祭蒔絵衝立ほか漆工品等の文化史資料6点の寄託契約を結んだ。

(13) 京都文化協会およびキヤノン株式会社の協力による綴プロジェクト「雪松図屏風高精細複製品」が完成し、4月26日レクチャールームにおいて寄贈にともなう説明会が開かれ、複製品の寄贈を受けた。

B. 三井記念美術館関係（資料の公開事業）

(1) 当年度は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、平成22年度展覧会の「三井家のおひなさま 特別展示 人形文化の華 [創業三百年 吉徳これくしょんの名品]」

展の展示を3月12日以降4月3日まで中止したほか、4月16日から6月19日まで開催を予定していた「特別展 ホノルル美術館所蔵 北斎展 葛飾北斎生誕250周年記念」が、東京電力(株)福島第一原子力発電所における放射能事故の影響を受け、延期の已む無きに至った。その非常事態のもと、代替展覧会として「三井記念美術館 館蔵品展」を急遽開催した。

今年度も下記の5回の展覧会を開催したが、平成23年4月1日から平成24年3月31日までに合計93,726人が入館した。平成17年10月8日の開館以降の累計入館者数は1,051,072人となった。なお、この間、平成23年10月8日(土)の午後、開館以来100万人目の入館者(夫婦で来館された東京都在住の星洋子氏)を迎え、特別室にて館長清水眞澄より記念証と記念品等を贈呈した。

①「三井記念美術館 館蔵品展」

(平成23年4月16日～6月19日) 入館者数 12,473人

②日本橋架橋百年記念 特別展

「日本美術にみる『橋』ものがたり 一天橋立から日本橋まで」

(平成23年7月9日～9月4日) 入館者数 22,896人

③特別展「華麗なる<京蒔絵>—三井家と象彦漆器—」

(平成23年9月17日～11月13日) 入館者数 23,245人

④「三井家伝来 能面と能装束 —神と幽玄のかたち—」

(平成23年11月23日～平成24年1月28日) 入館者数 15,638人

⑤「茶会への招待—三井家の茶道具— 併設 初公開—新町三井家の新寄贈品から」

(平成24年2月8日～3月31日) *会期終了日 4月8日(日)

入館者数 19,474人

- (2) 開館5周年記念事業(平成22年度)の一つとして計画された当館所蔵の能面を紹介する映像制作について、5月に京都金剛流宗家26世金剛永謹氏の協力を得て能舞台での演能姿を撮影し、9月に下記の映像が完成した。この映像は「能面と能装束」展より映像ギャラリーにおいて一般公開した。また、あわせてこの映像の英語版と、既存の映像「三井家の歴史と文化」の英語版も制作した。

題名:「三井記念美術館所蔵 能面 神々と幽玄のかたち」 約16分

制作:株式会社DNPアートコミュニケーションズ

※本事業は、三井記念美術館開館5周年記念事業として、(株)三越伊勢丹ホールディングス他全41社からの特別協賛金12,500,000円をもって行われたものである。

- (3) 各展覧会に合わせたワークショップを開催したほか、小・中学校の教職員研修会、親

子鑑賞会、学校への出張講座、博物館実習生の受け入れなど、小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的に取り組んだ。

- (4) 講演会・土曜講座・展示解説など、一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け、区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」（合計6回）を前年に引き続き開催し、地域の文化振興に寄与した。
- (5) 平成24年2月10日、東京国立博物館で公開承認施設会議が開催され、学芸部長清水実が出席した。

Ⅲ 松の茶屋保存公開事業

- (1) 今年度は、昨年度行った設備調査の結果に基づき、急を要する電気設備更新工事と「残月」「霞の間」を中心に建物の修復工事を行った。
- (2) 公開に関しては、本年度2件実施した。
 - ・平成23年11月8日、箱根町教育委員会主催の文化財探訪会19名を受け入れ、学芸部長清水がスライドによる室町三井家の歴史に関するレクチャーを行い、参事赤沼が茶室の現地説明を行った。
 - ・平成23年12月23日、名古屋の茶の湯文化学会分会26名を受け入れ、学芸部長清水がスライドによる室町三井家の歴史に関するレクチャーを行い、参事赤沼が茶室の現地説明を行った。
- (3) 登録有形文化財登録の申請を、平成24年3月に行った。

<収益事業>

I 不動産賃貸業

三井花桐ビルは、昭和62年9月竣工、築25年を迎えるため、リニューアル工事を実施中である。今年度は空調設備更新工事（第1期）、受変電設備改修工事を行い、ビルの性能維持に努めた。

また、1階101号室が平成23年8月末で解約となり空室のため、後継テナントを鋭意営業中である。

庶務事項

1. 理事会 開催4回

(1) 平成23年5月17日(定例)

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室
第1号議案 平成22年度事業報告書、収支計算書、平成23年3月31日現在財産目録等決算書類承認の件

原案のとおり承認可決。

第2号議案 評議員会に推薦する理事・監事・評議員候補承認の件

原案のとおり承認可決。

第3号議案 定時評議員会招集の件

末松議長より提案があった定時評議員会の招集について、原案を承認可決。

(2) 平成23年6月2日(臨時)

第1号議案 理事長・副理事長・業務執行理事・常務理事互選の件

定款第36条第3項の規定に基づき書面にて、理事長・副理事長・業務執行理事・常務理事の互選を諮ったところ、原案のとおり承認可決。

(3) 平成23年10月28日(臨時)

第1号議案 新町三井家、三井依子氏から文化史資料・社会経済史資料寄附受入れの件
定款第36条第3項の規定に基づき書面にて、原案を承認可決。

第2号議案 橋岡一路氏から文化史資料寄附受入れの件

定款第36条第3項の規定に基づき書面にて、原案を承認可決。

(4) 平成24年3月28日(定例)

第1号議案 平成24年度事業計画案および収支予算案承認の件

原案のとおり承認可決。

報告事項 三井記念美術館事業概況報告

三井記念美術館の事業の概況、運営方針、展示企画の内容等について報告があった。

2. 評議員会 開催1回

平成23年6月2日(定時)

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室
第1号議案 平成22年度事業報告書、収支計算書、平成23年3月31日現在財産目録等決算書類承認の件

原案のとおり承認可決。

第2号議案 理事および監事任期満了につき改選の件

理事ならびに監事の全員任期満了により改めてその選任を諮ったところ、原案のとおり中村胤夫氏（株三越伊勢丹 特別顧問）の後任として、石塚邦雄氏（株三越伊勢丹ホールディングス代表取締役社長）をあらたに理事に選任し、末松謙一・大橋信夫・岩沙弘道・由井常彦・清水眞澄・豊田章一郎・中田易直・速水融・三井八郎右衛門の9氏が理事に、井口武雄・藤井健の2氏が監事に、それぞれ重任することについて、原案のとおり承認可決。

第3号議案 評議員三名交代、一名選任の件

評議員3名より退任の申し出があり、佐藤隆史氏（三井住友建設(株)顧問）の後任として五十嵐久也氏（三井住友建設(株)取締役相談役）を、星野二郎氏（三井造船(株)特別顧問）の後任として岡野利道氏（三井造船(株)特別顧問）を、椎野公雄氏（三井倉庫(株)相談役）の後任として田村和男氏（三井倉庫(株)代表取締役社長）を、また砂原幸雄氏（株東京放送ホールディングス特別顧問）を新たに追加選任することについて、原案を承認可決。

3. 登記

平成23年7月12日 理事変更登記

新任 石塚邦雄

平成23年7月12日 評議員変更登記

新任 五十嵐久也・岡野利道・田村和男・砂原幸雄

4. 賛助費収入

(株)三井住友銀行ほか全50社 245,960,000円

5. 寄付金収入

三井不動産(株) 3,000,000円

6. 三井文庫在勤者数（平成24年3月31日現在）

文庫長（常務理事）	1名	三井記念美術館館長（理事）	1名
事務局長	1名	三井記念美術館参事	1名
研究員	4名	学芸員	4名

司書	2名	三井記念美術館運営部	5名
事務局員	2名		
		計	21名